

Q

深谷市温室効果ガス削減と取り組みは

A

市関係年905トン。太陽光設置補助分2540トン削減

加藤 温子

世界的異常気象により自然災害が多発。まず現状把握、その上心掛けが第一。本庁舎他297施設での平成24年度温室効果ガス排出量1万8365.2トン/年。削減目標3%。今後の対応は。

施設の建て替えと省エネで努力。指定管理者委託施設への太陽光発電の設置は。

建物の状況調査のうえ検討する。少人数でのテレビ・冷暖房使用が増加している。公共施設の開放が各年代交流や省エネにもつながるのでは。

市内22か所、本庁舎・支所・公民館他クールアアシスを設置。利用望む。太陽光発電設置補助件数、平成25年度300件、今後増やす考えは。

来年度予算に向け、財政状況等検討のうえ考えていく。

ふっカーゴのアンテナショップ役目は活動状況と費用対効果は。

ふっカーゴはペイント代を含め約1千万円。一日使用料5千円。平成25年8月から32回稼働。内12回は農商工



ふっカーゴ

団体、道の駅等のイベントに貸す。他は県内、都内で高速道路サービスエリア、ショッピングセンター、マンション等で時期の農産物・花等販売PR。広告宣伝車として役割を担っている。

雪害による屋根撤去、今後は。平成27年度より新運行開始。本庁舎と深谷駅にテレビモニター設置。各停留所も民間の力と連携し、コンビニ、病院前等に設置の方向で改善していく。

Q

協働の具体的な施策として空き家対策はどうか

A

9月から調査を開始している

村川 徳浩

協働推進部協働推進課を設置した目的は。

市民と市役所担当部署間のコーディネートとマッチングを推進する組織的牽引役として設置した。

市民協働提案制度で新たに事業提案を募集するという点は、行政のスタリム化や経費削減という点で逆行するのではないかと。

既存事業の見直しも検討する。市民協働の成功のキは市職員の意識や姿勢が重要だと思いが、職員のみとしての協働参加はどうか。

協働事業への参加を呼び掛ける。協働の具体的な施策として空き家対策はどうか。

9月から自治会に依頼し調査を開始している。

雪害に対する総括について。一般住宅等への被害は把握していないとのことだが、その理由は。

情報収集のための体制が整わなかった。また住宅施設関連の公的支援がなかったため調査を行わなかった。



Q

公共施設の何割が築30年を経過しているのか

A

全体の46%を占めている

ためがや 剛

本市が保有する公共施設の何割が築30年を経過しているのか。また、建て替えの時期は。

平成25年4月現在で183施設を保有しており、うち建築後30年以上を経過した建物は、全体の46%を占めている。また、建て替え時期については、耐用年数を60年とすると、平成30年代後半から50年代後半にかけて、ピークを迎えることとなる。

今後40年かかる更新費用は。

総額で約1450億円。試算期間における平均費用は、年間36億4千万円となり、現状の約1.3倍の費用がかかる結果となっている。

公共施設の問題、今後の取り組み

公共施設の老朽化への対応は。

市の取り組みとしては、平成24年度に「深谷市公共施設適正配置基本方針」を策定し、今後の公共施設の在り方に関する基本的な市の考えを示している。また、市が保有する公共施設の現状や課題について明らかにし、公共施設の老朽化問題について、市民に周



公共施設の更新費用推計

知し、検討するきっかけづくりとして本年3月に「深谷市公共施設白書」を作成した。今後は、人口減少に伴う利用者の減少や少子高齢化による市民ニーズの変化などを踏まえ、適正配置基本方針に基づき、国から策定要請があった「公共施設等総合管理計画」並びに「適正配置実行計画」を策定し、施設保有量のスリム化と維持管理経費の削減に努めていきたい。

Q

論語の里整備活用計画の具体的な内容は

A

さまざまな課題を研究し対応していく

武井 伸一

尾高惇忠生家前をとり、「中の家」方面へ向かう主要道路の整備は。歩車分離の明確化（カラー舗装等）関係部署と調整しながら検討していく。

整備活用計画は地元の協力が不可欠であり、地域の方々もこの計画に大いに期待している。地域の活性化につながる取り組みと今後の予算は。住民との協働により行事やイベント等を開催し地域の活性化につなげたい。事業費は計画策定段階で、実施については課題を研究しながら対応していく。

新たな資料館を建設する予定は。渋沢栄一記念館展示資料の充実と管理体制の充実を計画しており、新たな資料館の設置については、現在の財政状況を考えると難しい状況にある。

北部地域の洪水対策は

豊里・八基地区の避難所は小山川を越えなければ避難できないため、増水時には危険ではないのか。

豪雨の際は冠水する地域であり、



主要道路（市道幹14号線）